

職 種	IT スペシャリスト				
専門分野	プラットフォーム	ネットワーク	データベース	システム管理	セキュリティ
レベル7					
レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて、技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、システムプラットフォームフレームワーク設計、開発、導入メソッドを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。	300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、セキュリティフレームワーク設計、開発、導入メソッドを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。
レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。	100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。
レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。	100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバーに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバーに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバーに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。
レベル3	技術チームメンバーとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。	技術チームメンバーとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。	技術チームメンバーとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。	技術チームメンバーとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。	技術チームメンバーとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。
レベル2	以下の領域に関して、高度IT人材を目指す者が成長するために必要な基本的知識・技能を保有し、実務に活用している。(基本情報処理技術者試験合格レベル) <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術全般に関する基本的な事項 ・システムの設計・開発・運用に関する基本的な事項 ・ソフトウェアの設計・開発 				
レベル1	以下の領域に関して、職業人として情報技術に携わる者に最低限必要な基礎知識を保有している。(ITパスポート試験合格レベル) <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステムやネットワークに関する基本的な事項 ・企業活動や関連業務に関する基本的な事項 ・問題分析及び問題解決手法に関する基本的な事項 ・関連法規、情報セキュリティに関する各種規定に関する基本的な事項 ・情報システムの開発及び運用に関する基本的な事項 				